

# 令和5年度事業報告

自 令和 5年 4月 1日  
至 令和 6年 3月31日

## I 事業の状況

### 1 概況

令和5年度は、指定管理者として、あづま総合運動公園、福島空港公園及び逢瀬公園・福島県総合緑化センターについては第4期の、福島市民家園については第3期のそれぞれ最終年度の管理運営に当たり、利用者に快適かつ安全な施設を提供するため、定期的な巡回や点検など、施設の適切な維持管理や緑化の推進に取り組んだ。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」へ移行し、社会生活も落ち着きを取り戻したことから、各種大会、イベント等も通常どおり開催できた。事業の実施に当たっては、利用者ニーズを捉えながら、公園での健康づくりのための各種事業等の展開に努めた。

**あづま総合運動公園**では、スポーツの普及指導として「歩こう秋のふくしまあづまの郷ウォーク2023」、「あづま荒川クロスカントリー大会」等を開催するとともに、昨年度に引き続き「あづま夕焼けパークマラソン」を開催した。また、子どもを対象とした水泳、球技等の各種スポーツ教室、一般の方を対象とした公園健康づくり教室、テニス大会等を開催した。

このほか、体育館メインアリーナでは平日昼間の利用促進を目的とした平日割サービス、トレーニング室等では継続利用推進を目的とした月会員サービス等に引き続き取り組んでいる。庭球場では、涼しい時間帯での「夏季週末早朝営業」や21時までの「夜間営業」を実施したほか、とうほう・みんなのスタジアム等では照明設備を利用して「プロとプレーしよう！ナイトサッカー教室」を開催した。

レクリエーション事業としては、「あづま球場みんなのボールパーク」、「あづまちびっこパーク」、「あづまTeshigoto市場」等のイベントを開催した。

**逢瀬公園・福島県総合緑化センター**では、コロナ禍で中止していた「逢瀬公園さくらまつり」を開催するとともに、地域関係団体との連携により「逢瀬公園秋の感謝祭」、「光のページェント」等を実施した。また、各種体験会、教室等については、参加募集人数を会場が密にならない人数として実施した。さらに「公園で楽しむカルチャー教室」を新規事業として立ち上げ、「スローライフを楽しむハーブ講座」においては、午前の体験会と午後のハーブ園実習に分け、毎月定期的に開催した。

**福島空港公園**では、福島空港と共同で「空港公園まつり」を開催したほか、「第17回福島空港公園杯グラウンドゴルフ大会」、「第17回福島空港公園杯少年フットサル大会」

等のスポーツ大会や、健康づくり事業として「ノルディックウォーキングで健康になろう」、「空港公園でヨガ」等を実施した。

また「第16回空のみちウォーク2023」、「第10回福島空港公園 handmademarket ソライチ」等の大規模イベントを開催した。個人参加型のイベントや各種体験会では、子ども向け環境学習「みどりの楽校」、公園の花木を活かした「桜を観る会」や「空港公園で農体験」等を開催した。

**福島市民家園**では、計画どおり、季節ごとの年中行事・体験行事を開催したほか、縁側の山野草展・即売会、夜の民家園、民家園秋まつり等を開催した。

**緑の普及指導・緑化の推進事業**では、「みどりの相談所」等を設置し、樹木等に関わる各種相談に対応した。

また、公園のみどりの資源を利用し「あづま香りのバラ園まつり」、「サクラ、イチョウライトアップ」、「公園の落ち葉プール」等のイベントを開催した。

**大規模イベント**への貸出事業では、2023 福島チェロ・コンサート、日米対抗ソフトボール、福島県最大級の音楽フェス「LIVE AZUMA 2023」、春の全国中学生ハンドボール選手権大会等において、主催者との事前の調整など、指定管理者として適切に対応し、当該イベントの円滑な開催に協力した。

他に、あづま総合運動公園では、水素燃料電池システムの保安管理・PR 事業を受託し、施設の維持管理及びPR 事業に取り組んでいる。

\* 以下、「あづま総合運動公園」を「あづま」、「福島空港公園」を「空港」、「逢瀬公園」を「逢瀬」、「福島県総合緑化センター」を「センター」、「福島市民家園」を「民家園」という。

## II 事業概要

### 1 スポーツ・レクリエーションの普及指導及び体力の増進に関する事業【公益目的事業】

#### (1) スポーツの普及指導事業

##### 1) スポーツ教室

「小学生初心者水泳教室」や「ワンポイント水泳教室」、「親子で楽しむからだあそび」、「季節を楽しんで歩こう」等のスポーツ教室を開催し、県民の運動意欲の高揚に資するとともに、公園施設利用者の増加に努めた。

場 所	事 業 名	対 象	実 施 日	回 数	延べ参加者数
あづま	プロとプレーしよう！ナイトサッカー教室	小学生	6～9月	全4回	71名
	ワンポイント水泳教室	プール利用者	4～6月 10～12月	全30回	202名
	季節を楽しんで歩こう	一般	4～12月	全9回	96名
	親子で楽しむからだあそび「水泳教室」	幼児・親	7/9	1回	10名(5組)
	小学生初心者水泳教室	小学生	6～3月	6日×3期	377名
	小学生一輪車教室	小学生	6/25	1回	19名
	小学生体操教室	小学生	1/6、7、 13、14	4回×1期	64名
	公園健康づくり教室	一般	5～3月	全6期	22講座 312名
空 港	ノルディックウォーキングで健康になろう	一般	4月～3月	全24回	529名
	空港公園でヨーガ	一般	4/8、6/10、 8/5、10/7	4回	59名
逢瀬、センター	ノルディックウォーキング体験教室	一般	4月～3月	全48回	639名

## 2) スポーツ大会

チーム対抗テニス大会や小学生バレーボール大会を主催するとともに、ウォーキング大会、サッカーフェスティバル等を各種スポーツ団体と共催し、県民のスポーツ参加の促進に努めた。

場 所	事 業 名	対 象	実 施 日	延べ参加選手数
あづま	第 39 回福島市スポーツ少年団バレーボール競技大会	小学生	4/15、16	82 名
	第 12 回あづま総合運動公園チーム対抗テニス大会（人工芝完成記念大会）	一般	5/3	136 名
	第 14 回あづま総合運動公園杯県北マスターズテニス大会	一般	6/22	92 名
	第 16 回あづまカップパークゴルフ大会	一般	10/5	106 名
	第 26 回 Me&You サッカーフェスティバル	小学生	8/19、20	688 名
	第 39 回全国小学生陸上競技交流大会福島県選考会	小学生	7/2	790 名
	第 19 回西方部親善木球大会兼第 13 回あづま杯木球大会	一般	9/2	39 名
	第 28 回ミニバスケットボールチビっ子フェスティバル	小学生 低学年	9/9、10	780 名
	第 46 回総合運動公園庭球場オープン記念ダブルステニス大会	小学生、中 学生、一般	10/21、22	126 名
	あづま夕焼けパークマラソン 2023	一般	8/26	552 名
	歩こう秋のふくしまあづまの郷ウォーク 2023	一般	11/3	1,302 名
	うつくしまふくしま第 46 回福島県小学生バレーボール選手権大会	小学生	12/2、3	498 名
	第 23 回あづま荒川クロスカントリー大会	小学生～ 一般	12/10	858 名

場 所	事 業 名	対 象	実 施 日	延べ参加 選手数
あづま	第 23 回あづまジュニア体操競技大会	小・中学生	1/20、21	59 名
	あづまU-12 ガールズフットサル 2024	小学生 女子	2/10	中止
空 港	第 17 回福島空港公園杯 少年フットサル大会	小学生	10/7, 8	450 名
	須賀川市大東地区球技大会（グラウンド・ゴルフの部）	一般	6/21	100 名
	第 29 回福島県ターゲット・バードゴルフ大会	一般	9/14	中止
	第 17 回福島空港公園杯 グラウンド・ゴルフ大会	一般	10/27	261 名
	第 14 回福島空港公園杯 8 人制ジュニアサッカーフェスティバル	小学生	6/10, 11	560 名
	第 12 回福島空港公園 秋季選抜 ジュニアシングルステニス大会	中学生 高校生	10/14, 15	96 名
逢 瀬、 センター	第 14 回ノルディック ウォーキング大会 in 郡山 2023	一般	5/28	120 名

### 3) ニュースポーツ普及指導事業

#### 器具貸出し

園内でのニュースポーツ活動、地域住民への器具貸出しを実施した。

(あづま 貸出件数 延べ 28 件 (グラウンドゴルフ (15 件)、パークゴルフ (11 件)、ストラックアウト (2 件))

#### 4) 他団体連携によるスポーツ普及指導事業

NPO法人、各種競技団体等と協働でシニアスポーツ相談及びウォーキング大会等を開催し、県民の健康増進に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	スポーツ教室	公園カルチャー・公園健康づくり教室を協働で開催するとともに、春のノルディックウォーキング(5/10 1回9名)、秋のノルディックウォーキング(10/4, 11, 18, 25 4回28名)ヨガプラクティス(5/12, 19, 6/2, 9, 16, 7/7, 14, 21, 8回85名)、を開催した。
	シニアスポーツ相談室の運営	シニア世代の健康増進の一助として、スポーツ・レクリエーション活動に関する情報を継続提供。相談件数(102件)
	クライミングウォールの講習会開催補助及び体験会	県山岳連盟と連携しスポーツクライミングの普及に努めた。講習会は体験会5/27、9/30(参加者82名)
	歩こう秋のふくしまあづまの郷ウォーク2023	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3(参加者1,302名)
	庭球場ナイター照明点灯セレモニー	ソフトテニスの県内実業団チーム「チームダンロップ」に協力していただき、照明の点灯式及び県北の小中学生を対象としたソフトテニス教室を開催した。6/24(教室参加者54名)
空 港	第16回空のみちウォーク2023	地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。(参加者約900名)

#### 5) 職員が有する能力及び資格を活用したスポーツ普及指導事業

公園資源や職員の持つ資格や技術を活用し、県民の健康づくりに寄与する事業を実施した。また、競技力向上に寄与した。

- ① 水泳指導(小学生初心者水泳教室、ワンポイント水泳教室、水連合宿)
- ② アーチェリー指導(合宿)

#### 6) とうスタをホームとするプロスポーツへの支援事業(あづま)

とうほう・みんなのスタジアムをホームとする福島ユナイテッドFCに対し、パートナー契約に基づき、チームの支援を行った。

## 7) その他のスポーツ普及指導事業

### ① とうスタで「ナイトラン&ウォーク」

公園での健康づくりを目的に、とうほう・みんなのスタジアムの照明施設を活用し、参加者に自由に週末のナイトランを楽しんでもらうイベント「とうスタでナイトラン&ウォーク」を継続して実施した。(7/8, 29の2日間 23名)

### ② スポーツを楽しんで食事券をGETしよう

閑散期の冬季に利用者数を増やし、健康づくりに寄与するため、トレーニング室と室内プールの利用者を対象にポイントカードを作成し、貯まったポイントで体育館レストラン又は福島市民家園カフェむろいしで使用できる500円食事券と交換できるサービスを開催した。(期間:10/1~2/29(食事券の有効期限3/31)(延べ445名に食事券配付))

## (2) レクリエーションの普及指導事業

### 1) レクリエーション事業

公園のみどりの豊かさや楽しさを知っていただくため「公園の落ち葉プール」をはじめ各公園において体験型イベントを実施した。また、県民の生涯学習の場として、各種手づくり講座等を開催した。なお、一部の講座は、仕事帰りに参加できるよう夜間の開催とした。

場 所	事 業 名	内 容
あづま、空港、逢瀬、センター、民家園	公園フォトコンテスト	公園で見つけた、とっておきの風景や感動、驚きの様子を捉えた瞬間など、見た人が改めて公園の魅力に気づかされるような写真を募るフォトコンテストを実施。 第16回の入賞作品を展示(あづま、福島県庁、センター、空港、コラッセ福島)した。 (第17回応募数94作品)。
あづま	あづまでインスタコンテスト2023!	若い世代にも気軽に投稿できるインスタグラムを活用して、公園のイメージアップにつながる写真や動画を募集し、「行ってみたい、利用してみたい、魅力のある公園」として発信する。 (応募数77件)
	みどりの教室	公園の特色を活かし、季節感のあるみどりに触れて学ぶプログラムで講座を開催。全6回(参加者105名)

場 所	事 業 名	内 容
あづま	子どもみどりの教室	福島県もりの案内人を講師にさがそう！この木何の木&ウォータースライダー体験を行った。7/31参加者数12名。 冬の体験として手すき和紙でハガキを作ろう12/3参加者3名。
	ボランティアとの協働による公園づくり	公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術指導を行った。また、企業団体の社会貢献活動の場となる機会を提供。みどりのボランティア(14回、参加者数173名)、みどりのサポーター(11回、参加者78名)、うつくしま園芸福祉の会(9回、参加者57名)。
	公園の落ち葉プール	子供たちに身近な自然との触れ合いの場を提供するとともに、落ち葉の有効利用を目的とし、体育館入り口付近に落ち葉プールを設置。10/27～11/12まで。利用者720名
	あづまバラ愛好会の活動	ローズコンシェルジュとともに、バラ園を学ぶ場として活用し、技術指導などを行っている。班活動、自主活動を含め(35回)開催。(参加者1,409名)
	公園カルチャー教室、公園健康づくり教室	講師(講座)を募集し、年6期40講座開催。(参加者519名)。
	あづま球場みんなのボールパーク(新規)	普段、立ち入ることのできない人工芝グラウンドや観客席を使って、子どもから高齢者までが楽しく集えるイベントを行った。4/29参加者約690名
	あづまちびっこパーク	子供たちの健康増進と自然とのふれあいを目的に、身体全体を使い楽しく思い切り遊んでもらうイベントをせせらぎ・桜の広場で実施。6/18参加者数664名
空 港	とんぼ玉づくりを楽しむ	21世紀建設館を会場にトンボ玉を作った。(参加者15名)
	門松づくり体験	21世紀建設館を会場に、門松づくり体験を開催。1回(参加者20名)
	みどりの講座	バラやハーブの育て方や楽しみ方、季節の寄せ植えをテーマに各教室を開催。9回(参加者212名)

場 所	事 業 名	内 容
空 港	空港公園自然塾	木の枝クラフト、藍染などを実施。全 6 回 (参加者 87 名)
	空港公園で農体験 ～野菜づくりを楽しむ～	みんなの野菜畑(植え付け、芋掘り)を開催。2 回 (参加者 30 名)
	桜を観る会	公園の代表的な花木であるサクラを鑑賞し専門知識の提供や植栽エリアの魅力を提供する。 (参加者 10 名)
逢 瀬、 センター	坂道ウォーキングによる健康増進機会の発信	園内の起伏に富んだウォーキングコースの危険木の伐採や剪定、舗装の改修を行った。また「コースマップ」をスタート地点や売店、休憩所に配置した。
	みどりを感じる手づくり講座	ペーパーフラワーやアジサイのリースづくり、季節のしつらいによる細工体験、クリスマスリースづくりなどのみどりに関する体験教室を開催。全 20 回 (参加者 206 名)。
	公園で楽しむカルチャー教室【新規】	一閑張りやカルトナーージュづくりなどのカルチャー教室を開催。全 6 回 (参加者 64 名)。
	国蝶オオムラサキ・甲虫観察舎の開設	国蝶オオムラサキとカブトムシなどの昆虫の観察舎を設置し、子どもたちの利用促進に努めた。6 月～8 月、入場者数 8,973 名。
	公園は僕らの宝島“逢瀬の森で遊ぼう”	もりの案内人の会県中支部と連携し、木の枝クラフトづくりやナイトウォーク体験会、森のおはなし会 & プチ工作等を行った。全 5 回 (参加者 249 名)。

## 2) 他団体連携によるレクリエーション普及指導事業

地域の公園として関係団体などと連携しながら、「ボランティアとの協働による公園づくり」、「各種体験会」、「民家園ふれあいまつり」などの事業を開催し、公園利用者数の増加に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	ボランティアとの協働による公園づくり (再掲)	公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術指導を行った。また、企業団体の社会貢献活動の場となる機会を提供。みどりのボランティア (14回、参加者数 173名)、みどりのサポーター (11回、参加者 78名)、うつくしま園芸福祉の会 (9回、参加者 57名)。
	あづまちびっこパーク (再掲)	子供たちの健康増進と自然とのふれあいを目的に、身体全体を使い楽しく思い切り遊んでもらうイベントをせせらぎ・桜の広場で実施。6/18 参加者数 664名
	第 19 回西方部親善木球大会 兼第 13 回あづま杯木球大会 (再掲)	福島市西地区体育振興協議会と共催で初心者でも参加できる木球のオープン大会を開催した。9/2 参加者 39名
	第 12 回あづま Teshi-got 市場	手づくり品を通じた交流を目的にイベントを開催した。10/21、22、来園者数 24, 128名。
	歩こう秋のふくしまあづまの郷 ウォーク大会 2023 (再掲)	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3、参加者 1, 302名
	親子で学ぼう！防災教室	防災について親子で楽しく学べる機会を提供した。 4/29 参加者 690名 (「あづま球場みんなのボールパーク」と同時開催)
空 港	第 16 回空のみちウォーク 2023 (再掲)	地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。(参加者 約 900名)
	ノルディックウォーキングで健康になろう (再掲)	空港公園の 3 エリアを活用し、ノルディックウォーキング体験会を開催。全 24 回 (参加者 529名)

場 所	事 業 名	内 容
空 港	空港公園でヨガ（再掲）	緑のスポーツエリアの天然芝を活用したヨガの体験会を開催。4回（参加者 59名）
	第10回福島空港公園 handmademarket「ソライチ」	6/3,4の2日間、150店舗もの手作り品を扱うお店が出店し、約30,000名の集客を得た。
	第2回ノルディックウォーキング空港公園大会	福島県ノルディックウォーキング協会の協力を得て、エアフロントエリアから野外活動エリアのコースを楽しんだ。（参加者 100名）
	空港公園まつり	福島空港と共同で5/13と9/17に開催し、ヨサコイ演舞やおもしろサイクル等で賑わい公園の周知を図った（参加者約4,850名）
	空港公園で農体験～野菜づくりを楽しむ～（再掲）	みんなの野菜畑（植え付け、芋ほり）を開催。2回、（参加者 30名）
	空港公園子ども生け花教室	地域の子供たちを対象とした生け花教室を開催。1回、（参加者 20名）
	パラスポーツ体験	パラリンピック競技のボッチャの体験会を開催した。（参加者 30名）
	スポーツターフで遊ぼう	多目的広場の天然芝の上でスポーツ鬼ごっこを開催し、子どもたちが元気よく駆け回った。（参加者 58名）
逢 瀬、 センター	キャベツ餅MUSIC LIVE 2023	（コロナにより活動自粛）
	公園は僕らの宝島“逢瀬の森で遊ぼう”（再掲）	もりの案内人の会県中支部と連携し、木の枝クラフトづくりやナイトウオーク体験会、森のおはなし会&プチ工作等を行った。全6回（参加者 249名）
	逢瀬公園秋の感謝祭	地元の安積アルプス実行委員会、逢瀬の風実行委員会との共催によって開催。10/14・15、（参加者 2,983人）

場 所	事 業 名	内 容
逢 瀬、 センター	光のページェント	逢瀬町観光協会との共催によって、12/17 点灯式を開催。参加者数 (300 人)。12/26 まで点灯し、冬の夜の公園の魅力を生み出した。(見学者 1,700 人「点灯式含む」)
民家園	縁側の山野草展・即売会	猪苗代山野草会による展示、福島植物園による即売会を行った。(参加者 1,264 名)
	民家園ふれあいまつり	地元産新そばの提供、劇団公演、ワークショップ、市民団体と協働で開催。10/29 (参加者 1,905 名)

### 3) 地域連携によるレクリエーション普及指導事業

地元中学生の職場体験「中学生ドリームアップ事業」の受け入れを再開した。また、自治会や商工会等の団体と協働する「緑と花のあふれるまちづくり連携事業」等様々なイベントを開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	「中学ドリームアップ事業(職場体験活動)」の生徒受け入れ(市内各中学校)	信夫中5名(6/26, 6/29, 6/30)、 岳陽中3名(8/30, 8/31, 9/1) を受け入れた。
	緑と花のあふれるまちづくり連携事業	福島商工会議所女性会と協力し花苗の栽培や、園内の花壇整備を行った。(3回、参加者39名)
	ボランティアとの協働による公園づくり(再掲)	公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術指導を行った。また、企業団体の社会貢献活動の場となる機会を提供。みどりのボランティア(14回、参加者数173名)、みどりのサポーター(11回、参加者78名)、うつくしま園芸福祉の会(8回、参加者51名)。
	あづまバラ愛好会の活動(再掲)	ローズコンシェルジュとともに、バラ園を学ぶ場として活用し、技術指導などを行っている。班活動、自主活動を含め(35回開催)。(参加者1,409名)。
	いきいき交流通学合宿の受け入れ	中止
	あづま絵本ぶんこの活用	幼児体育室脇に、絵本を自由に楽しむことのできるコーナーとして「あづま絵本ぶんこ」を設けた。また、絵本の管理(受入、修繕等)を実施。
空 港	空港公園まつり(再掲)	福島空港と共同で5/13と9/17に開催し、ヨサコイ演舞やおもしろサイクル等で賑わい公園の周知を図った(参加者約4,850名)
	花のまちづくり推進事業	市民が参加して栽培した花苗で地域環境の美化活動や地域おこしを行うことを目的に、4月から10月まで8回延101名が参加し、4,000ポットの花苗を地域に寄贈。

場 所	事 業 名	内 容
逢瀬、 センター	逢瀬公園さくらまつりの開催	逢瀬町商工会、片平町商工会との実行委員会を組織して4/16開催。参加者数(3,043人)。
民家園	民家園春まつり	周辺地域の協力のもと、つるし雛展示、寒ざらしそばの出店、各種体験会等を行った。(参加者1,062名)

#### 4) サイクルスポーツ広場事業

変わり種自転車や一輪車、バッテリーカーやそり(無料)の貸出を行った。家族のふれあいの機会や子どもたちの健康増進のため無料券を配布し、利用促進を図った(5/5、10/9(雨天中止))。

利用者数は、(延べ242,411名)、うち有料自転車等利用者数は(167,534名)、バッテリーカー利用者数(21,653名)となった。

### (3) 体力の増進事業

「公園で健康になろう」をテーマとして、子どもたちの遊び、運動の場の提供とともに、体育館トレーニング室、室内プール、陸上競技場トレーニング室における月会員制の継続実施により、施設利用の促進に努めた。

場 所	事 業 名	内 容																																			
あづま	軽運動室の無料開放	震災後、子どもたちの健全育成や体力増進を応援するため、小学生以下を対象に、本来有料施設である軽運動室を無料開放。なお、新型コロナ対策として人数制限や換気、消毒等を行った。利用者数（21,602名）。																																			
	月会員・半年会員サービス事業	<p>① 体育館・陸上競技場トレーニング室 期間内において1日2時間まで使用可能な会員サービスに取り組み、トレーニング室の継続利用者の増加を図った。登録者数は下表のとおりとなった。</p> <p>■体育館トレーニング室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月会員</th> <th>半年会員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>236</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>シルバー</td> <td>308</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>■陸上競技場トレーニング室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月会員</th> <th>半年会員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>77</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>シルバー</td> <td>23</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 体育館室内プール 期間内において1日1回使用が可能な会員サービスに取り組み、室内プールの継続利用者の増加を図った。登録者数は下表のとおりとなった。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月会員</th> <th>半年会員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般</td> <td>198</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>シルバー</td> <td>305</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>		月会員	半年会員	一般	236	63	高校生	1	1	シルバー	308	44		月会員	半年会員	一般	77	1	高校生	1	0	シルバー	23	0		月会員	半年会員	一般	198	11	高校生	1	0	シルバー	305
	月会員	半年会員																																			
一般	236	63																																			
高校生	1	1																																			
シルバー	308	44																																			
	月会員	半年会員																																			
一般	77	1																																			
高校生	1	0																																			
シルバー	23	0																																			
	月会員	半年会員																																			
一般	198	11																																			
高校生	1	0																																			
シルバー	305	37																																			

#### (4) その他の事業

##### 1) 文化伝承事業

七夕、風鈴やハロウィン、クリスマスなど、季節にふさわしい室内展示や生活・文化を伝承する通年の行事を開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	季節感を創出する伝統文化の展示	季節に合わせて、七夕飾りと風鈴、お月見、クリスマス飾り、団子さしかざり、おひなさまを体育館ホールなどに展示。
空 港	季節の伝統行事の展示	七夕の短冊飾り、クリスマスツリー飾り、おひな様飾りの展示。
逢 瀬、 センター	季節を感じる展示・飾り付け	四季の移り変わりを感じさせる飾り付けを行った。七夕、風鈴の設置、ハロウィン飾り、木の実細工展示、クリスマスツリー展示、団子さしや、わんぱく広場にイルミネーションを設置。
民家園	年中行事・体験行事・実演行事・ボランティアガイド	年中行事の再現、体験行事等の円滑な運営に努めた。
	全国のだるま展示会・絵付け体験	全国のだるま展示会と絵付け体験を実施。
	お正月遊び体験	民家園を活用した昔ながらのお正月遊びを来園者に提供予定。

## 2 都市公園並びにスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化・自然に関わる施設の管理運営事業 【公益目的事業】

### (1) 指定管理施設

#### 1) 指定管理者としての施設の維持管理業務

施設名	面積 (㎡)	維持管理施設
あづま総合運動公園	88.2	総合体育館ほか有料施設 11施設
		巨石広場ほか無料施設 10施設 (クライミングウォールを含む。)
福島空港公園	52.1	庭球場ほか有料施設 4施設
		日本庭園ほか無料施設 9施設
逢瀬公園	17.3	桜の広場ほか無料施設 5施設
総合緑化センター	16.5	管理棟 1施設
		日本庭園ほか無料施設 17施設
福島市民家園	11.0	古民家 11施設
		展示館、管理棟、休憩棟 3施設

### (2) 施設管理運営事業

#### 【全公園共通】

#### 1) 定期的な巡視

安全・安心な施設を提供するため、定期的な巡視を行うとともに、異状があった箇所については速やかに応急的な処置を行った。

#### 2) 点検作業

適正な施設の維持管理の一貫として、点検作業を体系化し、着実に実施するとともに、遊具について日常管理保、保守点検を行った。

#### 3) 修繕計画

有資格の職員により施設点検を行い、更新などの修繕計画を作成し、県などの施設管理者に予算確保のための資料として提出した。

#### 4) 災害等の対応

来園者の安全確保や不法行為の防止及び災害等の不測の事態に備えるために、避難誘導訓練や普通救命講習等を行うとともに、新たに不審者対応訓練を実施した。

#### 5) 放射線量測定

園内各施設の放射線量を定期的に測定し、ホームページや掲示板への掲示によ

り利用者に情報を提供した。

#### 6) 受動喫煙防止の取組

子どもたちやタバコを吸わない人をタバコの煙から守るため、喫煙所にフェンスを設置するなど受動喫煙の防止に取り組んだ。

#### 【あづま】

##### 7) 利用者へのサービス

公園内の季節の見どころに可動式ベンチを設置した。

##### 8) 公園野良ネコの現状把握と対策

野良ネコの生息地や生息数を把握するため、3月に生息調査を実施し54匹を確認した。昨年までの一斉調査で把握できなかった生息数についても聞き取り調査等により確認した。引き続き、公園の捨て猫問題に取り組む関係者と捨て猫の現状や里親さがしの状況について、情報交換を行いたい。

##### 9) あづま総合運動公園燃料電池保安管理・PR業務

水素燃料電池保安管理・PR事業を受託し、水素燃料電池システムによる発電施設の管理とPR事業を進めた。

- ① 水素利活用発信・・・水素燃料電池PRのためのパネル展示と館内放送及び遠隔監視業務
- ② 水素設備点検・・・高圧ガス保安法定期点検業務
- ③ 各種点検及び燃料電池PR・・・日常点検、施設案内

#### 【空港】

##### 10) 福島広場の適切な管理

福島県を形取ったタイル舗装は起伏を伴う特徴があるため、日常点検による安全性の確保と景観の保持に努めた。

#### 【逢瀬、センター】

##### 11) 園内案内看板の見直し改修

古くなった案内板などを現状にあった内容に改訂し、新たに看板を設置した。

#### 【センター】

##### 12) 日本庭園の池の水質浄化と滝の流れ

水質の浄化を目的に池の清掃を行うとともに、滝の水を定期的に流すなど、景観の維持に努めた。

#### 【民家園】

##### 13) 古民家等の適切な管理

次世代に確実に引き継いでいくため、貴重な古民家及び民俗資料の適切な管理に努めた。

### (3) 緑地管理事業

#### 【全公園共通】

- ① 各植物の特性、景観性に配慮した植栽管理に努めた。
- ② 自然環境に配慮した植生管理、景観性に配慮した植栽管理に努めた。

#### 【あづま、空港、逢瀬、センター】

- ③ 生育状況や利用に応じた適切な芝生管理に努めた。
- ④ 季節毎に楽しめる草花管理、自然美に配慮した下草管理、意匠性と自然美を融合させた植栽管理に努めた。
- ⑤ 樹木の枯れ枝などを巡視で発見し剪定を迅速に行った。

#### 【空港、逢瀬、センター】

- ⑥ 日本庭園において樹木の生態に合った剪定や雪吊りなど日本らしさ、郷土性、季節感の感じられる緑地管理に努めた。

#### 【あづま】

- ⑦ とうほう・みんなのスタジアムの芝グラウンドにおいてプロスポーツ利用に配慮した芝生補修を迅速に行った。

#### 【空港】

- ⑧ 復興のシンボル「はるか」を植樹した福島広場の植栽地を適切に管理している。

#### 【センター】

- ⑨ 本館前におもてなし花壇を整備し、育成管理を行った。

### (4) 有料施設管理事業

- ① 有料施設の適正な利用受付及び貸出業務を行うことにより、公平・公正な貸出に努めた。(あづま、空港、センター)
- ② 新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類へ移行後においても安心な利用環境の提供のため、消毒液の配置などを実施した。(無料施設については、固形石鹼を配置し、手洗いを励行した。)

## (5) 指定管理施設の利用者数

**あづま総合運動公園**では、有料施設のうち大会・イベント等利用については、利用団体が行う感染対策としての入場制限等を緩和したことなどにより概ねコロナ禍前に回帰してきているものの、屋外型施設（サイクルスポーツ広場等）については、夏場に熱中症アラートが多く発出されたことから利用が伸び悩んだ。公園利用者数の46%を占める無料施設の散策、健康づくり、レクリエーション利用については、6～9月においては暑さの影響による利用減（前年度比88%）、12～3月期においては例年と比較して降雪が少なかったこともあり利用増（同111%）となった。その結果、公園全体の利用者数は前年度比で約4%減（5万6千人減）の1,400,144人となった。

**福島空港公園**では、「空港公園まつり」、「第16回空のみちウォーク2023」、「福島空港公園 handmademarket ソライチ」等のイベントや「第17回福島空港公園杯グラウンドゴルフ大会」、「第17回福島空港公園杯少年フットサル大会」等の競技会を開催し多くの来場者があった。また、エアフロントエリア及び野外活動エリアにおいて、幼稚園、小学校等の遠足やウォーキングなどの健康づくり、家族単位等での散策や福島空港開港30周年記念イベントも実施され、今年度の入園者数は、前年度比で約10.9%増（約5.3万人増）過去最高の540,835人となった。

**逢瀬公園・福島県総合緑化センター**では、コロナ禍で中止していた「逢瀬公園さくらまつり」、地域関係団体との連携による「逢瀬公園秋の感謝祭」、「光のページェント」等の大規模イベントを実施した。また、新規事業「公園で楽しむカルチャー教室」を立ち上げるとともに、「スローライフを楽しむハーブ講座」では、午前の体験会と午後のハーブ園実習に分けるなど、工夫しながら各種事業を実施した。

今年度末の入園者数は、猛暑や天候不順もあり、アガベ開花等の影響により過去最高を記録した前年度から約18%減（約4万人減）の182,127人となった。

**福島市民家園**では、年度前半（4～7月）は、好天による一般散策者等の増加、「にぎ和伊カフェむろいし」の定着等もあり、前年度に対して130%を超える状況で推移していたが、その後、夏期の猛暑、旧広瀬座の改修工事、広瀬座口の閉鎖等の影響があったため、前年度から約6%減（約3千3百人減）の55,438人となった。

指定管理施設全体では、前年度比で約2%減（約4万8千人減）の2,178,554人となった。

(単位：人)

公園名	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 元	R 2	R 3	R 4	R 5
あづま	1,839,769	1,750,177	1,984,697	1,786,897	1,670,180	963,555	954,520	1,456,806	96.1%
									-56,662
									1,400,144
空 港	508,824	519,573	529,353	530,967	524,424	428,480	467,382	487,726	110.9%
									53,109
									540,835
逢瀬、 センター	183,637	169,762	163,448	153,633	182,717	196,853	176,871	222,707	81.8%
									-40,580
									182,127
福島市 民家園	46,169	40,515	35,432	35,875	33,228	51,566	48,145	58,666	94.5%
									-3,228
									55,438
合計	2,578,399	2,480,027	2,712,930	2,507,372	2,410,549	1,640,454	1,646,918	2,225,905	97.9%
									-47,361
									2,178,544

●令和2、3年度の利用者数実績については、コロナ禍による特殊事情が影響しています。

●R5については、上段：R5/R4、中段：R5-R4、下段：令和5年度実績数

### 3 都市公園等に関する情報の収集、広報、調査研究及び利用促進並びに地域づくりに関する事業【公益目的事業】

#### (1) 都市公園等の情報収集事業

##### 【全公園共通】

- ① 公園管理運営に対する満足度を調査するためのアンケートを意見箱などで収集した。(127件)

##### 【あづま】

- ② イベント・教室開催時に公園利用者へのアンケート調査を実施した。結果を分析し、分析結果を今後の事業計画に反映することとしている。(あづま〔対象数10、回収数617件。〕)
- ③ 大会開催時等に利用団体等から施設や運営についての情報収集を行った。
- ④ 他の類似公園の管理運営情報の収集を行った。

#### (2) 都市公園等の広報事業

##### 【全公園共通】

- ① マスメディアを活用した広報活動を積極的に展開した。
- ② スポーツ団体、学校、各種団体等に対し、大会等キャンセル時の施設利用誘致活動など、空き施設利用推進に努めた。
- ③ 協会発行の広報誌配布による県民への情報提供を行い、利用促進に努めた。
- ④ 各施設の現況や大会、イベントの開催状況などの情報を充実させたホームページをほぼ毎日更新した。

- ⑤ きめ細やかな公園の四季の発信として、X（エックス）やInstagram等を活用したリアルタイムな情報の提供・交換や、混雑時の駐車場の空き状況の情報をきめ細やかに発信した。
- ⑥ 公園で開催される大会やイベント内容を園内掲示板へ掲示し、情報提供を行った。また、公園に対する意見・要望への回答を園内掲示板へ掲示した。

**【あづま、逢瀬、センター、民家園】**

- ⑦ 園内で見られる花を図鑑として作成し、これを花の時期に掲示することにより、みどりの普及・啓発に努めた。
- ⑧ 植物学習の場を提供するため、園内の植物名板の充実を図った。

**【あづま】**

- ⑨ 公園スタッフが伝えたい見どころや利用方法、施設紹介など、公式ユーチューブでの発信を継続した。
- ⑩ ホームページで園内開花状況などの情報を随時提供するとともに、公園の魅力が伝わる撮影スポットをSNSを利用して発信した。
- ⑪ 電光掲示板やデジタルサイネージを活用し、リアルタイムに情報を提供した。

**【逢瀬、センター】**

- ⑫ 利用者からの要望に対する回答や公園の情報を発信する「公園情報コーナー」を休憩所に設置した。

**（3）都市公園等の調査研究事業**

グリーンエージ都市環境緑化フォーラム、東北スポーツ施設研究協議会等に参加し、公園やスポーツ施設について情報集収や情報交換を行った。

なお、県内4市及び県、公園管理団体等情報交換会を2月に開催し、情報交換を行った。

**（4）都市公園等の利用促進事業**

**1）施設の特性を活かした事業の推進**

**【全公園共通】**

- ① ボランティアの協力をいただきながら、公園案内、スポーツ指導、イベント補助、年中行事の伝承などを行った。
- ② 学校や幼稚園等の遠足・見学等を随時受け入れた。なお、雨天の際には休憩の場として、屋内施設を提供した。

**【あづま、空港、逢瀬、センター】**

- ③ 公園での健康づくりをテーマとした各種事業等に取り組んだ。
  - ア コース案内看板の修繕により、園内ウォーキングコース、ジョギングコースの適正な管理に努めた。
  - イ とうほう・みんなのスタジアムのナイター照明設備を活用した「とうスタでナイトラン&ウォーク」「プロとプレーしよう！ナイトサッカー教室」を実施した。
- ④ みどりのボランティア、みどりのサポーター、あづまバラ愛好会、福島空港公園ボランティア、おうせボランティアの育成を図るとともに活動の場を提供した。

【あづま、空港】

⑤ 次の有料施設を個人利用者に無料開放する「個人利用サービスデー」を実施した。

ア あづま総合運動公園

5/5 サイクルスports広場 6,453名

8/20 庭球場 205名

室内プール 214名

10/9 雨天中止

合計 6,872名

イ 福島空港公園（毎月1回） ※お客様感謝デーとして実施  
庭球場。利用者数は321名。

【あづま、逢瀬、センター】

⑥ サクラやイチヨウなどの公園資源を活用したライトアップを開催し、公園の魅力を発信した。

【あづま】

⑦ 軽運動室を引き続き無料開放した。また、あづま絵本ぶんこを運営した。

⑧ 庭球場において、利用者ニーズを踏まえ、夏の涼しい時間帯（6時～9時）に利用していただく「夏季週末早朝営業」に取り組んだ。6月から8月の土日、22日間で1,502名の利用があった。

⑨ とうスタの芝グラウンドにおいて、プロスポーツ利用（3月～11月）に対応するため、芝生の養生管理に努めた。

⑩ カルチャー教室や健康づくり教室の開催、シニアスポーツ相談室、スポーツ教室をNPO法人あづまスポーツクラブと共催し、平日の利用促進を図った。

⑪ ヤマユリ群生地 の保全を図るとともに、アジサイ園、シャクナゲ園、バラ園の植物園としての適切な管理に努めた。

⑫ バラの愛好者が集い、公園内のバラ園を活用して栽培技術などを学ぶ「あづまバラ愛好会」の活動を支援した。

⑬ 公園の特色を活かしたイベントを開催することで、公園の四季を身近に感じていただくとともに、各種植物園（円形花壇、香りのバラ園、ヤマユリ園、アジサイ園）の魅力を発信した。

⑭ 体育館トレーニング室、室内プール、陸上競技場トレーニング室の利用に応じたポイントを付与し、レストラン松月及び福島市民家園カフェむろいしで使用できる500円食事券と交換できるサービス「スポーツを楽しんで食事券をゲットしよう！」を提供し、冬季間の利用促進に努めた。

⑮ 冬季間の利用推進としてあづま総合体育館前広場の一部をライトアップし、「あづま冬のフォトスポット」として提供した。

【空港】

⑯ 福島空港公園フットサルコートの特典サービス（年間）として、フットサルコートにおいて、10時間利用で1時間分無料の回数券を発行した。

⑰ 日本らしさと四季の演出、公園の新たな魅力の再発見を目的に、日本庭園マツの雪吊りを実施した。

⑱ 健康増進のため、利用者からの要望に応え卓球台を設置し、貸し出し（有料）を行った。

#### 【逢瀬、センター】

⑲ ウォーキングを楽しむ利用者への更なる情報提供の強化として、逢瀬公園坂道健康ウォーキングマップを各所に配置した。

⑳ 園内利用におけるランニング愛好家の増加を踏まえ、新たにランニングコース周辺の安全な走行整備を行った。

㉑ 植物名板や各種解説板の増設を行い、施設の魅力アップを行った。

㉒ 公園資源を利用したニュースポーツとして、公園の豊かな自然の中で心身の健康増進を図る Park ヨガを開催した。全 24 回（参加者 205 名）。

㉓ 坂道が主である公園の地形により、身体の不自由な方や高齢者の利用が制限されることから、ユニバーサルデザインを意識して車両の乗り入れのルール設定を行い、園内走行を許可した。

#### 【センター】

㉔ 条例で休館日となる第 3 日曜日を開館し、公園利用者の利便性向上を図った。

㉕ 「おうせ茶屋」は公園利用者の利便性の向上と地域連携を目的に運営しており、郷土料理「キャベツ餅」の販売や地域食材を使った飲食サービスについて、広報等の支援を行った。

#### 【民家園】

㉖ 寄贈されたものを活用して「だるま展示会」を開催し、民家園の利用促進を図った。

㉗ 公園利用者の利便性の向上のため開店した「にぎ和伊カフェむろいし」の運営に協力し、新たな魅力づくり、サービスの向上に努めた。

### (5) 都市公園等の地域づくり事業

福島商工会議所女性会に協力していただき、花苗の栽培や園内の花壇整備を行う「緑と花のあふれるまちづくり連携事業」など、地域の団体との協働による様々なイベントを開催するとともに、ボランティアの受入れや育成を通し、地域の活性化や地域づくりを担う人材等の育成に取り組んだ。

場 所	事 業 名
あづま	「中学ドリームアップ事業（職場体験活動）」の生徒受け入れ（市内各中学校）（再掲）
	地域密着型プロスポーツへの支援事業
	ボランティアとの協働による公園づくり（再掲）

場 所	事 業 名
あづま	あづまボランティアの活動 当協会主催のイベント、スポーツ大会等のスタッフとしてボランティアを依頼し県民活動の場を推進した。(5件49名) このほか、NPO法人うつくしまスポーツルーターズ(3件49名)、ひまわりフォトクラブ(2件5名)に依頼し県民活動の場を拡充した。
	あづまバラ愛好会の活動(再掲)
	緑と花のあふれるまちづくり連携事業(再掲)
	いきいき交流通学合宿の受け入れ(再掲)(中止)
	歩こう秋のふくしまあづまの郷ウォーク2023(再掲)
	荒川ミュージアムへの参画
空 港	第16回空のみちウォーク2023(再掲)
	空港公園まつり(再掲)
	第2回空港公園ノルディックウォーキング大会
	空港公園ボランティア活動
逢 瀬、 センター	地域の花いっぱい運動への花苗の栽培提供
	「安積アルプス出逢いプロジェクト」地域づくりへの取り組み
	周辺の公の施設との連携による地域づくりへの貢献
	地域の環境美化活動への貢献
	光のページェント
	逢瀬さくらの里づくりへの取り組み(新型コロナにより活動自粛)

#### 4 緑化に関する普及指導、情報の収集及び調査研究に関する事業【公益目的事業】

##### (1) 緑化推進の普及指導及び情報収集事業

##### 1) 公園資源を活用した緑化推進事業

① 公園資源を活用した「あづま香りのバラ園まつり」、公園の四季を彩るサクラ、イチョウ等のライトアップは継続して開催した。

また、「公園の落ち葉プール」で使用した落ち葉を堆肥用として無料配布するとともに、香りのバラ園まつりの来場者に花苗の無料配布を実施し、緑化の推進に努めた。

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
あづま	サクラ光のファンタジー	4/1～4/10	1,758名
	あづまバラ愛好会の活動（再掲）	4/3～3/4	1,409名
	みどりのボランティアの活動	4/22～2/29	173名
	みどりのサポーターの活動	5/11～12/4	78名
	あづま「香りのバラ園まつり」	6/3、4	11,250名
	あづま香りのバラ園まつり花苗配布	6/3、4	500名
	緑と花のあふれるまちづくり連携事業	7/14～11/10	39名
	みどりの図書館事業	通年	—
	この木なんの木気になる木ラリー	通年	—
	あづまちびっこパーク（再掲）	9/18	664名
	イチョウ光のプロムナード	10/18～11/12	8,603名
	子どもみどりの教室（再掲）	8/1、12/3	15名
園内掲示板への花だより情報の掲載	通年	—	
空 港	花のまちづくり推進事業（再掲）	4/6、21、27、 6/8、8/18、 9/7、14、10/12	108名
	空港公園で農体験～野菜づくりを楽しむ～ （再掲）	5/16、10/23	30名
	みどりのカーテン設置	5月～10月	—
	桜を観る会	4/9	10名
逢 瀬、 センター	みどりに親んでもらうための展示と工夫	通年	—
	みどりの日記念花苗無料配布	5/4	250名

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
逢 瀬、 センター	きのこを通して森を学ぶ親と子の環境学習事業	6/17、7/30、 9/30	34名
	県内一の植物園的機能の充実に向けた取り組み	通年	—
	もりの案内人との連携による自然環境保全への取り組み	6月～11月	—
	緑化の推進と普及のための各種物品販売	通年	—
	苗木や草花の栽培と提供による緑化の推進	通年	—
民家園	みどりのカーテン設置	5月～8月	—
	縁側の山野草展（再掲）	6/3、4	1,264名
	植物見頃情報板及び花図鑑の設置	通年	—

② 緑化に関する知識の向上を目的に、家庭園芸の基礎を学ぶ各種教室や自然とふれあう体験教室を開催し、緑化の普及に努めた。

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
あづま	みどりの教室（再掲）	5/13、6/14、7/3、9/13、 11/25、1/27	105名
空 港	空港公園自然塾（再掲）	5/21、7/30、9/24、11/19、12/10、 1/14	112名
	空港公園子ども生け花教室（再掲）	5/14	20名
	樹木医が教える庭木の健康管理	6/24、12/2	27名
	空港公園みどりの楽校	10/26、1/26	32名
	みどりの講座（再掲）	5/19、6/16、7/21、8/25、 9/15、10/27、11/24、 12/15、1/19	212名
逢 瀬、 センター	スローライフを楽しむハーブ講座	4/19、5/17、6/21、7/19、 8/16、9/20、10/18、 11/22、12/20、1/17、 2/21、3/20	175名
	実践で学ぶ庭木の剪定講座	7/11	10名
	公園は僕らの宝“逢瀬の森で遊ぼう” （再掲）	4/16、5/4、8/5、10/14、 10/15	249名
	暮らしを彩るみどりと花の講座	6/10、6/27、7/5	46名
	笑顔広がるにこにこバラ講座	5/25、6/20、11/6、 11/23	54名

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
逢瀬、 センター	きのこを通して森を学ぶ親と子の環境学習 事業（再掲）	6/17、7/30、9/30	34名
	サボテン園の魅力発信	通年	4,807名

## 2) 職員が有する能力及び資格を活用した緑の普及指導事業

みどりの専門分野の知識・能力を活用したガーデニング教室、園芸教室等の教室や講座を開催し、みどりの普及啓発に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	みどりの教室（再掲）	公園の特色を活かし、季節感のあるみどりに触れて学ぶプログラムで講座を開催。6回、参加者数105名。
空 港	みどりの講座（再掲）	家庭での庭づくりやガーデニングの基礎知識を公園から伝えることを目的に講座を開催。9回、参加者数182名。
逢瀬、 センター	芝生の葉アートを楽しもう	河内小学校の授業と連携した芝刈り体験や一般参加者も含めた芝生に触れる体験を行った。6/1、6/3参加者18名。
	暮らしを彩るみどりと花の講座 （再掲）	全3講座のうち1講座は、多肉植物の栽培と寄せ植えについて初心者向けの内容を加え、職員が持つ技術提供を行った。参加者数46名。

## 3) その他の事業

### ① 「みどりの相談所」等の常設

「みどりの相談所」等をあづま総合運動公園と空港公園に常設して、一般県民及び市町村、団体から庭木や草花の病害虫の診断や防除指導等、みどりに関する疑問や質問等の相談を有資格者が受け対応した。

・ 樹種選定・特性	2件
・ 栽培・増殖	237件
・ 育成管理	156件
・ 樹勢診断・治療処方	3,980件
・ 病害虫	21件
・ その他	39件

合 計 4,435件

〔 うち、相談室内アドバイス	159件
出張アドバイス	4,276件

## ② 「みどりの相談室」の設置

逢瀬公園・緑化センターでは、引き続き「みどりの相談室」を設置し、34人からの相談に対応した。

### 4) 情報収集事業

みどりに関する季刊誌や県外の公園情報誌等で情報収集を行った。

## (2) 緑化推進の調査研究事業

### 1) リサイクル事業

【あづま】

① 剪定枝や松くい虫被害木はチップーにより減容化し、堆肥製造装置により堆肥化するとともに、花壇の土壌改良材として利用した。

【あづま、空港、逢瀬、センター】

② 落葉樹を主とした落ち葉は分別収集し、来年度の花壇用堆肥として再利用するため積み置き保管した。

【空港、逢瀬、センター】

③ 剪定枝はチップーにより減容化し、処分施設内に保管した。

### 2) 生態系に配慮した事業

【あづま、空港、逢瀬、センター】

公園内の自然環境を踏まえて、生態系に配慮した緑地管理を実施した。

### 3) 公園みどり守事業【新規】

【あづま】

あづま総合運動公園のシンボリックな樹木であるケヤキやサクラとイチョウ並木を中心に、衰退した樹木の樹勢回復を実施した。

### 4) 逢瀬さくら守事業

【逢瀬、センター】

逢瀬公園さくらの広場のサクラについて、土壌改良による樹勢回復を実施した。

## 5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業【収益事業】

### (1) 都市公園の管理運営のうち、興行に類するものへの貸出に関する事業

#### 1) 興行に類するものへの貸出状況

##### ① J3ユナイテッドホームゲーム

2023 シーズン：4/2・15、5/3、6/11・24、7/1・22、8/6・19、9/9・24、10/8・22・29、11/12・19、12/2 計17試合、合計20,200人

2024 シーズン：3/17・24・31 計3試合、合計4,748人

ルヴァンカップ：3/13 計1試合、合計690人 総計21試合、25,638人

② 天皇杯全日本サッカー選手権：5/20 300人

③ 2023 ふくしまチェロ・コンサート：5/21 853人

- ④ ルートインBCリーグ「福島レッドホープス対栃木ゴールデンブレーブス」：5/28 693人
- ⑤ 日米対抗ソフトボール：8/6 3,800人
- ⑥ 県マーチングフェスティバル：9/17 1,000人
- ⑦ 全日本チアダンス選手権東北予選：10/7 700人
- ⑧ LIVE AZUMA 2023：10/14・15 12,000人
- ⑨ B.LEAGUE 公式戦 2023-24 シーズン「福島ファイヤーボンズ対新潟アルビレックス」：11/4～5 5,098人
- ⑩ 全早慶野球福島大会：11/26 5,000人
- ⑪ チアリーディング選手権東北大会：12/10 500人

**(2) 緑化の推進に関する樹木等調査、緑地造成及び緑地管理の受託事業**

1) 緑化の推進に関する樹木等調査事業

- ① 街路樹、緑の文化財等の樹勢診断調査及び保全対策の設計、施工  
令和5年度指定天然記念物定期診断業務（郡山市）  
工期：R5.7.19～R6.1.31
- ② 樹木調査診断業務委託（その1）（双葉町）  
工期：R5.9.28～R5.12.25
- ③ 令和5年度里山の名木・鎮守の森診断業務（福島県）  
工期：R5.4.24～R6.3.15

2) 緑地の造成及び緑地管理事業

- ① 福島県立医科大学の緑地管理  
福島県立医科大学緑地保全管理業務（公立大学法人福島県立医科大学）  
工期：R5.5.18～R6.3.31

**(3) 利用者への利便性供与を目的とする物品販売等に関する事業**

1) 売店等の設置

あづまに1箇所のレストラン、民家園に1箇所のカフェ及び空港に2箇所の常設売店を設置し、利用者への利便性向上に努めた。

また、センターの売店「おうせ茶屋」は4月から11月にかけて営業し、利用者の利便性の向上と地域連携に努めた。

**スポーツ大会、イベント開催時の臨時売店の設置**

	臨時売店
あづま	延べ 1,492店
空 港	延べ 370店

	臨時売店
逢瀬・センター	延べ 118 店

2) 自動販売機の設置

	飲料水	飲食物
あづま	37 台	6 台
空港	6 台	1 台
センター	2 台	—

3) スポーツ用品の販売、運動靴の貸出し（あづま、空港）

卓球ボールやバドミントンのシャトル、テニスボール等のスポーツ用品の販売等

4) 緑化の推進と普及のための各種物品販売（逢瀬、センター）

植物苗や緑を使った細工品を販売

### Ⅲ 役員等に関する事項

#### 1 理事、監事の状況

＜参考＞

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	任期満了 による改選等 (令和5年6月15日)	変更事由等 (令和6年3月31日)	補充選任 (令和6年4月1日)
			氏 名		氏 名
理 事	猪 股 慶 藏	重任	猪 股 慶 藏		
理 事	石 森 春 男	辞任による	須 釜 泰 一		
理 事	渡 辺 良 夫	重任	渡 辺 良 夫		
理 事	菅 家 礼 子	重任	菅 家 礼 子		
理 事	穂 本 哲 哉	重任	穂 本 哲 哉		
理 事	欠		齋 藤 善 也		
理 事	大 竹 和 彦	重任	大 竹 和 彦		
理 事	柳 田 範 久	重任	柳 田 範 久	辞任による	平 野 尚 巳
理 事	壺 岐 ひろみ	重任	壺 岐 ひろみ		
理 事	若 松 伸 司	任期満了	伊 達 孝 浩		
監 事	鈴 木 和 郎				
監 事	川 村 猪佐雄			辞任による	小 松 利 顕

#### 2 評議員の状況

＜参考＞

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	補充選任等	変更事由等	補充選任 (令和6年4月1日)
			氏 名		氏 名
評議員	須 藤 康 子				
評議員	鶴 見 宏 幸			辞任による (令和6年3月31日)	貝 羽 敦 司
評議員	小 川 宏				
評議員	森 雅 彦				
評議員	佐 藤 みゆき				

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	補充選任等	変更事由等	補充選任 (令和6年4月1日)
			氏 名		氏 名
評議員	飯 沼 隆 宏				
評議員	齋 藤 俊 藏				
評議員	新 谷 崇 一				
評議員	増 田 聡			辞任による (令和6年3月31日)	高 橋 和 司
評議員	矢 吹 貢 一			辞任による (令和5年11月19日)	鈴 木 智

### 3 常勤役員の異動状況

(令和5年6月15日付け重任)

新：理事長 猪 股 慶 藏

新：常務理事 渡 辺 良 夫

### 4 常勤役員の兼職状況

兼 職 名	兼 職 者
(公社)福島県森林・林業・緑化協会理事	理事長 猪 股 慶 藏
(公財)福島県スポーツ振興基金理事	〃
福島県体育施設協会会長	〃

### 5 理事会及び評議員会の開催状況

開催月日	提 出 議 題
<b>第1回理事会</b> 令和5年5月31日 コラッセふくしま 出席理事 8名 出席監事 2名	議案第1号 令和4年度事業報告及び附属明細書について 議案第2号 令和4年度決算に係る財務諸表及び附属明細書について 議案第3号 令和5年度第1回評議員会の招集(案)について

開催月日	提出議題
<p><b>第1回評議員会</b> 令和5年6月15日 杉妻会館 出席評議員 7名 出席監事 1名</p>	<p>報告事項1 令和4年度事業報告及び附属明細書について 議案第1号 令和4年度決算に係る財務諸表及び附属明細書について 議案第2号 理事の選任（案）について</p>
<p><b>第2回理事会</b> 令和5年6月15日 決議の省略による方法 同意評議員 8名 同意監事 2名</p>	<p>議案第1号 代表理事（理事長）の選任（案）について 議案第2号 副理事長の選任（案）について 議案第3号 常務理事の選任（案）について</p>
<p><b>第3回理事会</b> 令和6年1月26日 杉妻会館 出席理事 8名 出席監事 2名</p>	<p>報告事項 令和5年職務執行状況報告について 議案第1号 令和5年度補正予算（案）について 議案第2号 令和6年度事業計画（案）について 議案第3号 令和6年度収支予算（案）について 議案第4号 令和6年度第2回評議員会の招集（案）について</p>
<p><b>第2回評議員会</b> 令和6年2月5日 出席評議員 7名 出席監事 2名</p>	<p>報告事項1 令和5年職務執行状況報告について 報告事項2 令和5年度補正予算について 報告事項3 令和6年事業計画について 報告事項4 令和6年度収支予算について</p>

開催月日	提出議題
<b>第4回理事会</b> 令和6年3月23日 決議の省略による方法 同意理事 10名 同意監事 2名	議案第1号 令和5年度第3回評議員会の開催（案）について 議案第2号 公益財団法人福島県・都市公園緑化協会有料公園施設等利用料規則の一部改正（案）について 議案第3号 公益財団法人福島県・都市公園緑化協会嘱託員就業規則の一部改正（案）について 議案第4号 公益財団法人福島県・都市公園緑化協会業務員就業規則の一部改正（案）について 議案第5号 公益財団法人福島県・都市公園緑化協会臨時業務員就業規則の一部改正（案）について
<b>第3回評議員会</b> 令和6年3月23日 決議の省略による方法 同意評議員 9名 同意監事 2名	議案第1号 評議員の補充選任（案）について 議案第2号 理事の補充選任（案）について 議案第3号 監事の補充選任（案）について

#### IV 特記事項

なし。

#### 附属明細書について

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しない。

令和6年3月

公益財団法人福島県都市公園・緑化協会